

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分	氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
会 長 青木 茂道	青少協協力者	中尾 真純	青少年指導員	石澤 仁子	青少協協力者	三觜 恵加	青少協協力者
副会長 猪野 恭子	〃	大館くるみ	〃	内田 啓次	〃	吉岡 真代	〃
副会長 窪田 園子	指導員・保護司	杉山 織愛	〃	鈴木 瑞穂	〃	三觜正一郎	〃
会 計 佐藤 早雪	青少協協力者	西川 彩子	〃	越後屋由美	〃	小野田孝子	明治小学校長
会 計 中田 幸江	〃	山下 花織	〃	山崎たか子	〃	佐々木美乃	羽鳥小学校長
監 事 三觜 壽則	民 児 協	小林 美幸	民 児 協	京谷由紀子	〃	瀧谷 典子	八松小学校長
監 事 鈴木 和臣	青少協協力者	市川 孝治	〃	瀬戸 裕子	〃	中尾 安伸	明治中学校長
書 記 水澤 愛	青少年指導員	新田 次郎	〃	泉山ゆかり	〃	深津 礼子	羽鳥中学校長
書 記 中山 法子	青少協協力者	小河愛由美	〃	小林真紀子	〃	ロブソン由加里	明治小保護者
相談役 青木小四郎	〃	田中みゆき	〃	徳留美代子	〃	青木瑛美子	羽鳥小保護者
窪田恵津子	〃	西山 千秋	保 護 司	川崎 静香	〃	馬場 雅美	〃
宇久田進治	〃	神谷佳代子	青少協協力者	中田英美子	〃	秋田 美咲	〃
重政 孝子	〃	山田 淳子	〃	三浦 真弓	〃	伊藤 美樹	八松小保護者
秋田 典子	指導員・民児協	永井 洋一	〃	笹森 幸治	〃	岸原 和美	〃
安村 雅子	青少年指導員	海東 保文	〃	武田 澄江	〃	福家 大輔	明治中保護者
綾部由美子	〃	峰尾 勇	〃	新井 悦子	〃	伊藤由紀子	羽鳥中保護者
市川美智代	〃	大畑美佳枝	〃	三觜たか子	〃	若林 理恵	CSW 明治地区担当
齋藤美江子	〃	末永ゆかり	〃	宮 由紀	〃	藤田 太郎	八松小おやじの会
塚本 博美	〃	山崎実穂子	〃	平山 美穂	〃		
大波 直子	〃	中村 淳子	〃	山本 暢子	〃		
越 美紀	〃	阪井 隆	〃	北村菜央子	〃		
香取 純子	〃	上野 悦子	〃	柴田 千歳	〃		

青少協研修 2025 年 1 月 21 日

自分の身は自分で守る～ネット時代に必要な安全確認

講師 ネットセキュリティ専門職 福家大輔氏

便利なネット利用が、ある日突然トラブルに巻き込まれることも。カードの不正使用や詐欺の被害が日々報じられています。

今年度の研修は、そんな時期にタイミング良く、青少協の一員でもある福家氏にネット利用時の安全について講義をお願いしました。当日、仕事で米国に出張中の福家氏とリモートで市民センター4階ホールを繋いで行われた研修会、圧倒的に多い「誰からか」判らない情報や、フィッシング詐欺などの不正行為の実態と対策を受講できました。

何としても発信元と情報の「安全」を確認することがまず第一で、パスワードなど大切な自分の個人情報をしっかり管理すること、ネット情報は、ひとまず「信用しない」ことを学習しました。「支払い方法の変更」や「利用確認」を求められた場合は安易に応じない。発信元を「検索」するなど自ら確認することです。



♡編集後記♡

予定していた全ての行事を無事に終える事が出来ました。

さまざまな形で、子どもたちは地域の方々に支えられているという事を知ることができ、私自身も勉強になりました。

ありがとうございました。 (K.K)

2025 年（令和 7 年）
3 月 31 日
明治地区青少年育成協力会
発行責任者 青木 茂道

地域と共に育つ子どもたち

藤沢市立明治小学校
校 長 小野田 孝子



保護司ってなんだ

保護司 西山 千秋



日頃より明治地区の皆様には、明治小学校の教育活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

明治小学校は昨年度、120 周年を迎え、子どもたちの発案で地域や卒業生など多くの方々と一緒に祝いする、という活動を行いました。周年行事というと大人が計画し、準備や運営することが多いのですが、子どもたちは、まずは卒業生である自分の家族からスタートし、地域の方や各地の卒業生に声かけを行うなど、学校を大事にする気持ちにあふれている行動を目の当たりにし、とても心が温くなりました。地域に大事に育てられてきたからこそその自然な恩返しなのだと思います。

明治小学校として大事に取り組を続けている行事が「米作り」です。今年もお米のプロの方に教わりながら「明治小のお米」がたくさん収穫できました。昨年度からは初めて、全校児童がなんらかの形で「米作り」に関われるように作業を分担してきました。収穫祭で5年生がついたお餅をのし餅にして『努力の結晶』と名付け、全校児童に1個ずつ配布しました。一緒に出来上がりをお祝いしたい…そんな気持ちの表れだったのだと思います。

明治小学校として大事に取り組を続けている行事が「米作り」です。今年もお米のプロの方に教わりながら「明治小のお米」がたくさん収穫できました。昨年度からは初めて、全校児童がなんらかの形で「米作り」に関われるように作業を分担してきました。収穫祭で5年生がついたお餅をのし餅にして『努力の結晶』と名付け、全校児童に1個ずつ配布しました。一緒に出来上がりをお祝いしたい…そんな気持ちの表れだったのだと思います。



〈のし餅〉

1、2年生の種粳まきから始まった「米作り」ですが、全校の児童が関わるということで、明治の地域を広く知る、素晴らしい活動になっています。これからも、地域の皆さんと共に子どもたちを育てていきたいと思っています。

保護司が何で青少協のメンバーなのか？不思議に思われている方もおられるのではないかと思います。

保護司には二つの役割があります。一つは、罪を犯した人の中で、保護観察処分を受けた人（主に少年）と原則月2回面談して、再び罪を犯さず、社会の中できちんと生活できていけるように更生支援を行うことです。もう一つは、元犯罪者が再犯しないように、再犯防止のための各種活動を行うことです。具体的には、“社会を明るくする運動” や、その一環として小中学生向けに「作文コンテスト」を開催することです。

保護司が青少協に参加させていただいているのは、この地域の中での活動の一環です。青少協の指導員、協力者、民児協、学校関係者など地域を支えている皆さまと顔を合わせ、地域の各種情報を共有させていただくことにより、保護司が地域の青少年たちの状況を具体的に知ることができるからです。また、保護司からは更生保護の関連情報をお伝えすることにより、少しでも保護司活動にご理解いただくことができると考えております。

日常的に、地域の方々と保護司が連携する機会はほとんどありません。ただ、万が一地域でことが起きた場合、お互いすぐに話ができる良い関係性を持つておけることは、とても重要なことと考えております。

こうした地域の中での活動が、若い人が犯罪に関わりそうになった時に、ちょっと立ち止まる一助になればと思っています。

前号の「ふれあい」（第38号）で、青木会長が「人が育つ環境作り」を述べられています。私は明治地区で育ち、育てられました。微力ではありますが、明治地区の青少年が健全に育つ環境作りに少しでもお役に立てればと思っています。



春のハイキング

2024年3月27日
参加者 65人



相模湾、富士山、湘南海岸を望む岬に広がる横須賀市長井海の手公園「ソレイユの丘」に行ってきました。

ここは“365日誰もが丸ごと遊び楽しめるエンターテインメントパーク”です。まずメインゲートを通り屋根のあるレイクサイドステージへ移動。お弁当の前にウォークラリー。出題された問題は6問あり、案内板と手元の地図が頼りでした。なかでも広い園内で暮らす木彫りマスコットのサンタくんが何人いるかを探す時は、皆で教え合い、見つけた時には歓声が上がりました。お弁当の後は、巨大船型遊具ソレイユパイレーツで汗をかきながら夢中で遊びました。

ソレイユの意味は「太陽」。この日降り注ぐ太陽の光の下で、子どもたちは楽しい一日を過ごしました。

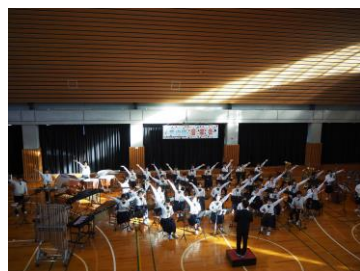
夏のキャンプ

2024年8月6日～7日
参加者 30人

静岡県朝霧高原へ1泊2日で行った夏のキャンプは、はじめにハートランド朝霧で命の話を聞き、次に乳しぼりを体験した後、トラクターの荷台に乗って牧場を回りました。

2日目はウォークラリーで猪ノ頭公園をスタートし、チェックポイントの陣馬の滝では水に手を入れて水温を予想しました。

子どもたちはすぐに友だちになり、夜遅くまで遊び、部屋の片付けは協力しながら2日間を過ごすことができました。



青少協音楽会

2024年11月23日
出演生徒 明治中 42人
羽鳥中 29人
湘南高 49人

当日は晴天に恵まれ、今までにないくらいの暖かい陽気でした。

午前中の準備は順調に進み、観客も続々到着し、いよいよ13時30分開演。羽鳥中学校の演奏から始まり、続いて明治中学校。来場の方からは、“2校のしなやかで透き通り、時にどっしりとした音色に聞き惚れました”“湘南高校の合唱のやさしさと迫力の声に体が震えるほど感動しました”との声をいただきました。

青少協の行事は感染症防止の対策をとりながら実施しました。

相模湾、富士山、湘南海岸を望む岬に広がる横須賀市長井海の手公園「ソレイユの丘」に行ってきました。

ここは“365日誰もが丸ごと遊び楽しめるエンターテインメントパーク”です。まずメインゲートを通り屋根のあるレイクサイドステージへ移動。お弁当の前にウォークラリー。出題された問題は6問あり、案内板と手元の地図が頼りでした。なかでも広い園内で暮らす木彫りマスコットのサンタくんが何人いるかを探す時は、皆で教え合い、見つけた時には歓声が上がりました。お弁当の後は、巨大船型遊具ソレイユパイレーツで汗をかきながら夢中で遊びました。

ソレイユの意味は「太陽」。この日降り注ぐ太陽の光の下で、子どもたちは楽しい一日を過ごしました。



ふるさとまつり模擬店

10月27日

例年のそば・うどんに加え、えびせん・唐揚げ・ポテト・ワッフル・マシュマロなど、盛り沢山のメニューで販売しました。どのメニューも大好評で、あっという間に売り切れしました。「美味しかったよ」と声を掛けていただき、とても嬉しかったです。

家庭の日ポスター展

2024年11月20日
～2025年1月5日

11月は内閣府が定める「秋のこどもまんなか月間」です。それに合わせて各学校に「家庭の日」のポスターをお願いしました。協力してくれた児童生徒たちの力作は、明治市民センターの1階と4階のロビーに彩りを添えてくれました。



作品出展 20点

- 明治小 11人
- 羽鳥小 2人
- 羽鳥中 7人

◇ 青少協ってこんなあつまり ◇

青少協は、明治地区各小中学校の校長先生及び保護者代表、民生委員・主任児童委員、保護司、青少年指導員そして会の趣旨に賛同してくださる協力者で構成されています。月1回の全体会議では、学校の様子や活動の報告、企画の状況、子どもを取り巻く問題などの情報交換を行っています。各行事の企画会は随時開催しています。

書き初め大会

2025年1月6日
参加者 65人

今年も2部制で行いました。65人の子どもたちが書道の道具を携えて集まってくれました。

高梨先生の丁寧なご指導をいただき、子どもたちは一生懸命書いていました。壁一面に作品が貼られ、どれも素敵な仕上がりとなりました。

手書き離れとも言われる現代で、書き初めはなくてはならない行事だと再認識しました。



わかざりづくり

2024年12月26日
参加者 44人

今年も多くの児童、総勢44人が参加した「わかざり（輪飾り）」作り。地域の方に教わりながら、小さな手のひらで藁をなう姿は、とても微笑ましく、苦戦しながらもいくつも完成させる姿は誇らしくもみえました。毎年参加している児童、笑い声の絶えない会場も、ひとつの風物詩にも感じられました。

わかざりづくりの運営をしてみても幼少に戻った時間を過ごすことが出来ました。前日の準備や材料の調達などご協力いただいた皆さまありがとうございました。

